

A日程 9年連続増

29年度入試 本学志願者



センター試験に取り組む志願者たち(1月14日、津田沼校舎6号館で)

「センター利用」は減少

平成29年度入学試験 学科別志願者数		センター利用試験		A日程試験	
学部	学科	29年度	前年度	29年度	前年度
工学部	機械工学科	1,928	2,316	2,247	2,461
	機械電子創成工学科	1,383	1,531	1,632	1,707
	先端材料工学科	1,346	1,353	1,515	1,483
	電気電子工学科	1,643	1,870	1,911	2,003
	情報通信システム工学科	1,539	1,474	1,821	1,611
創造工学部	建築学科	1,181	1,314	1,336	1,375
	都市環境工学科	1,638	1,763	1,880	1,848
先進工学部	デザイン科学科	1,223	1,432	1,533	1,534
	未来ロボティクス学科	1,210	1,435	1,488	1,631
	生命科学科	1,585	1,817	1,811	1,896
情報科学部	情報工学科	1,092	1,272	1,202	1,332
	情報ネットワーク学科	1,341	1,376	1,571	1,492
社会システム科学部	経営情報科学科	1,898	1,906	2,298	2,074
	プロジェクトマネジメント学科	1,567	1,640	1,909	1,739
	金融・経営リスク科学科	863	961	1,204	1,040
全志願者数		786	898	1,076	976
		726	828	1,011	918
		22,949	25,186	27,445	27,120

1月14、15日(土、日曜日)の大学入試センター試験を皮切りに入試シーズンが始まった。本学も、センター試験を利用して入学志願者の割合を決める大学入試センター利用入試を実施。今年度本学会場では昨年度より

90人多い受験生1990人を受け入れ、両日とも試験は順調に終了した。今年のセンター試験の志願者数は全国で約57万6千人。本学センター利用入試(前期)の志願者は2万2949人で、昨年より若干減ったものの多くの志願者が集まった。

続いてA日程入学試験が1月31日(火)から4日間、本学試験場と新設した郡山会場を含む15の学外試験場(1月31日、2月1日)で実施された。出願受け付け開始から間もなく、東京会場(東京スカイツリータワー)、高崎会場と次々に定員を満たし、最終的には7会場が定員を満たす結果となった。

試験日は4日間とも好

NEWS CIT

2017
2.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 超小型ロボット「CHERI」発表/UAE学生に宇宙教育/小林さん奨励賞/よさこい次代へ
- 3面 競基弘賞に吉田主席研究員/教員試験対策講座/第37回祝勝・奨励会
- 4面 建築した会が復活/吹奏楽部定期演奏会/出版案内/写真部卒業展のお知らせ

平成28年度 学位記授与式

平成28年度の学位記授与式は、3月22日(水)午後2時から、幕張メッセ・イベントホールで挙行されます。入場受け付けは、学生・父母とも1時半から開始します。開式(2時)以降の入退場はできません。なお、学生は当日「学生証」を必ず持参してください。



(左から)瀬戸熊理事長、川上さん、野崎さん、小宮学長、硬式野球部の竹内秀一監督

プロ野球へ 川上さん野崎さん 独立リーグ入り

体育会硬式野球部の川上祐作さん(経営情報科 学科4年)、野崎新矢さん(機械サイエンス学科 4年)の2人が、プロ野球独立リーグ「ルートインBCリーグ」に指名され、入団が決まった。

川上さん(外野手・日大習志野高出身)は、元大リーグ・岩村明憲さんが監督を務める福島ホープスに特別合格選手として、野崎さん(内野手)は元プロ野球選手として指名され、今後の野球人生をかけることになった。

2人は瀬戸熊理事長、小宮一仁学長を表彰し、小宮学長を表彰し、野崎さんは「学生野球は終わり、これから仕事として野球に打ち込みます。4年間千葉工大で培ったことを胸に、支えてくれた人々への感謝を忘れず、今年中にNPBへの注ぎをかなえ恩返しします。」

野崎さんは「結果が全ての世界へ飛び込むことに重圧を感じますが、1試合、一球、一瞬にこだわり、全力でプレーしていきたいと思えます」と決意を語った。

天に恵まれ、大きなトラブルもなく終了。今年度、A日程志願者数は2万7445人で、昨年を325人上回り、9年連続で増加した。

志願者増の要因は、本学の知名度が全国に浸透してきたことなどが挙げられる。昨年1年間、本学の取り組みがテレビ・新聞などに数多く取り上げられた。熊本地震で倒壊寸前となった宇土市役所の調査に未来ロボット

技術研究センター(furo)が送り出した災害対応ロボット「櫻香號」や、惑星探査研究センター(PERC)の開発の長期流星観測カメラ「メテオ」が国際宇宙ステーションに設置され観測が始まったことなどは特に大きく取り上げられた。

ほかにも▽学生たちが活躍し、ロボカップ世界大会2016(ドイツ)でテクニカルチャレンジ5連覇を成し遂げた▽東

京スカイツリータウンキャンパスで本学の研究成果を広く発信している▽新習志野キャンパスに新食堂棟・体育館・国際交流会館が新しくオープンし、より豊かな大学生活に、受験生だけでなく保護者からも期待が寄せられている。などが千葉工大のブランドイメージを向上させ、志願者を集めることにつながったとみられている。

独立リーグ セ・パ両リーグを持つ日本野球機構(NPB)や米メジャーリーグ、マイナーリーグに属さない地域組織のプロ野球リーグ。日本独立リーグ野球機構(IPL)は2014年に設立。現在、準加盟を含め16球団が2リーグに分かれてプレーしている。

が監督の栃木ゴールデンブレーブスにドラフト会議の地元推薦枠として指名され、今後の野球人生をかけることになった。

「競基弘賞」に吉田主席研究員

▼ 災害対応ロボットのシステム開発

本学未来ロボット技術研究センター（f u r o）で災害対応ロボットを開発している吉田智章主席研究員に「第12回競基弘賞」学術業績賞が贈られた。授賞理由は「一人の侵入が難しい場所で活動するロボットのシステム開発」。

同賞は阪神淡路大震災で死亡した神戸大学大学院生・競基弘さん（ロボット技術専攻2当時23歳）の名を冠し、レスキュー工学研究者らを表彰しようとするNPO法人「国際レ



受賞講演で「櫻杏號」による宇土市役所の内部調査を説明する吉田主席研究員＝毎日新聞提供

スキューシステム研究機構（神戸市）が創設した。授賞式は1月11日、神戸市長田区・ふたば学舎で行われ、吉田主席研究員が記念講演した。

吉田主席研究員は、人が入れない過酷な災害現場で活動するクローラー型ロボットのシステム開発を担当。完成機「クイーンズ」は東日本大震災の際、国産機として初めて東京電力福島第一原発の建屋内に入り情報収集。熊本地震では「櫻杏號」が余震が続く中、宇土市役所の損壊状況を内部調査した。今回はそうした実績が評価された。

吉田主席研究員の夫人は神戸市出身で、阪神淡路大震災で被災。受賞について「被災者の妻から開発を期待され、励まされてきた。災害で役に立つロボットをこれからも作りたい」と話した。

受賞講演では、福島第一原発の原子炉建屋内や宇土市役所庁舎での調査を振り返ったほか、CERN（欧州原子核研究機構）の加速器「リネックス」の加速器メンテナンスや英国鉄道網管理会社の用水路トンネルの点検実験に「櫻杏號」が使われていることを紹介した。

今回、学術業績賞に並ぶ技術業績賞は該当者なし。奨励賞には4人と1団体が選ばれた。

先輩3人がアドバイス

▼ 教員試験対策講座 今年も

今年も教員採用試験対策講座(教職課程運営委員会)が1月28日、津田沼キャンパスで開か



④ 採用試験についての講義風景
⑤ 学生たちに資料の世話をする西村さん

れ、教職課程を選んだ学生30人が参加した。草野滋之委員長（教育センター・社会教室）があいさつした後、2016年度



採用試験に合格した卒業生が体験報告しアドバイスをした。また教職課程担当教員が試験の傾向と対策をミニ講義した。

今回、後輩に報告してくれたのは、卒業後も科目等履修生として在籍中の西村華奈さん（数学）▽上越教育大の教職大学

院に進学した平林隆弘さん（数学）▽特別任用講師として県立銚子商業高等学校に勤めている渋谷亮介さん（数学）の3人。

教員採用の枠が広がってきているとはいえず、学部卒業と同時に教員採用試験を突破するのは簡単ではないこと、他方で教員になる道は多様にあること、などが報告で示された。

終了後は報告者を囲み「数学の楽しさとは何か」「教員採用試験の期間中に不安はなかったか」などと質疑や談笑が続けられた。

教職課程運営委員は今後も、講座や日常的な指導を通じて、教職課程受講生への支援を続けていくという。

14クラブを表彰

第37回祝勝・奨励会

表彰されたクラブは以下のとおり。
平成29年2月8日(水)16時～ 津田沼校舎3号館 学生食堂で

所属	クラブ名	主将・部長等	部員数	祝勝奨励事由	日付	
体	空手道部	電情4 星野 寛治	13名	千葉県空手道選手権大会	優勝	
				男子団体組手	優勝	
				男子個人組手 (PM 4 山本 峻也)	優勝	
				女子個人組手 (建都 4 小林 京佳)	優勝	
	弓道部	情報2 川路 空夏	56名	千葉県学生弓道選手権大会	優勝	
				男子個人戦 (建都 2 日俣 侑也)	優勝	
				関東学生弓道選手権大会 秋季リーグ戦中関東ブロック (男子)	2部優勝	
剣道部	ロボ3 田中 志弥	28名	習志野市民剣道大会	男子個人戦 (生環3 吉野 翔平)	優勝	
育	サイクリング部	機サ2 生嶋 大暉	46名	筑波8時間耐久レースin サマー	OMクラス	優勝
	自動車部	機サ3 森戸 亮生	35名	全関東学生ジムカーナ新人選手権大会	女子個人の部 (デザ3 石井 与詩乃)	優勝
				全関東学生ダートトライアル選手権大会	男子個人の部 (機サ4 石橋 悠人)	優勝
				全日本学生ダートトライアル選手権大会	団体戦	出場
				全日本学生ジムカーナ選手権大会	団体戦	出場
	卓球部	電情2 渡辺 夏音	45名	習志野四大学対抗卓球大会	男子団体戦	優勝
	会	バドミントン部	電情3 五十嵐 貴紀	69名	千葉県学生バドミントン春季リーグ (男子)	Bクラス優勝 Aクラス昇格
千葉県学生バドミントン春季リーグ (女子) 関東大学バドミントン秋季リーグ (男子)					Bクラス優勝 5部優勝 4部昇格	
	よさこいソーラン風神部 (奨励として)	建都2 武田 光太	209名	市区町村や各種団体からの要請を受け、地域の祭りなどで演舞を行っている。また、自らコンテストにも参加し、10月8～9日、東京都豊島区で107団体が参加して開催された「東京よさこい」で企業賞【三菱地所(株)賞】を受賞するなど、積極的な活動が高く評価できる。		
文	総合工学研究会	ロボ2 石川 直生	17名	ROBOT JAPAN 12th	フライ級 (電情2 富田 修平)	優勝
	将棋倶楽部	材料1 中根 公輝	18名	関東大学将棋連盟主催 春期団体戦	C級Ⅱ組	優勝
	フィッシャークラブ (奨励として)	電情3 徳田 朋之	54名	全日本学生釣魚連盟関東支部ルー・フライ大会で受賞。また、数多くの課外活動を行い文化会に大きく貢献した。		
	鉄道倶楽部 (奨励として)	電情2 豊崎 貴之	28名	幼稚園や企業等の他団体のイベントに赴き、意欲的に活動した。千葉トヨペット60周年イベントや幕張車両センターフェスティバルでミニ電車による乗車イベントを実施し、大学と地域との交流に大きく貢献した。		
	会	写真部 (奨励として)	生環2 櫻井 慧太	62名	春期学外展「はるてん」夏期学外展「ナツテン」など地域施設を利用した展覧会を実施し、地域の方々に向けて文化会の広報活動を継続的にを行い、文化会の活性化に尽力した。	
電気研究部 (奨励として)		電情2 高橋 純	42名	意欲的に外部展示場での活動を行った。また、コンテストに多数参加し、団体及び文化会の広報活動を積極的に行い、文化会の活性化に尽力した。		



人類は1万年にわたり「法則」「原理」といった数式などでしか書き記すことができなかった



「法則」「原理」といった数式などでしか書き記すことができなかった

科学が明かす宇宙・生命

文明は「見えない世界」がつくる

著者 松井孝典・千葉工大惑星探査研究センター所長 出版 岩波新書 価格 920円(税込み)



松井孝典所長

「見えない世界」の中にあるのか。我々は何者なのか

紀元前7世紀のカルデア人の曆から説き起し、アインシュタインの相対性理論から最新の「エンターテインメント」まで、難解な理論を自在に操って「見えない世界」の「見える化」の歴史をたどった筆者は、最後に地球の生命は宇宙から運ばれてきたという「パンスペルミア」説を積極的に検証していく必要があると指摘し、こう結んでいる。



したた会に集まった同窓生たち

建築しつた会 復活

学科名が戻り 同窓110人初代会

15年前に解散した建築学科の同窓会「CITA」が再発足の運びとなり、初代会が昨年11月20日、津田沼校舎1号館20階で開かれた。

初代会は津田沼祭の開催期間中に開かれ、全国から約110人の同朋が



吹奏楽部 年度を飾る12曲

冬の風物詩となった文芸会吹奏楽部(黒澤匠部長)が、津田沼校舎向かいの習志野文化ホールで開かれた11写真。

黒澤部長は「今年度ナインパーワンの演奏ができました。お客様、応援してください。感謝しています。」

し、支援・寄与できるような積極的な方針が次々と打ち出された。

今年度は、如何いう訳が野鳥がとっても気に入ら始めて、ポケモンGOでもするかの様にお正月休みは、犬の散歩を口実に、双眼鏡片手に千葉の公園を散策してしま

気分が浸っていました。今まで、何気なく見ていたものが、雀ではなくヤマガラスやシジュウカラだったり、鴨ではなく、オオハシやオドリだったり、良く見ると実は色々な野鳥だった事に驚かされました。

年間、長い人生においては短い期間ですが、とても大切な時期です。私達は、この事を意識して、忙しさに翻弄される事なく、常に学生一人一人に目を向けて対応する事の重要性を忘れず、いなればと思います。また、学生さんには、充実した学生生活を送ってもらい、是非「幸せの青い鳥」を見つけて欲しいものです。

新習志野教務課 柿山 正美

四季雑感



今年も入試の時期に突入した。本学でもセンター試験で二千名近い受験生を受け入れた。

今年この時期に思い出すのは、自分の苦しい受験時代の記憶だ。中でも、試験日当日に大雪で朝早く家を出た記憶は未だに鮮明に残っている。

残り入学試験を控えた受験生と同様、春が待ち遠しい今日この頃。 施設課 片岡 真人

編集だより



クルクルまわる時計の針のように、時間に追いかける毎日を過ごしている。

うことは、欲張りな私にとって、少々難しい。これもやりたい!あれもやりたい!と好きなモノに時間を費やす事は、睡眠時間を削るがなんの苦勞もない。しかし、この合間のちょっと面倒なことを苦手なことを後回しにすることで、家庭や仕事場において、あらゆる決められたことが時間内に片付かず、結局は後悔するハメになる。「好きなの」をするた

めには、嫌いなこともやらなくちゃいけない!と、ゲームばかりしている娘に向かって宿題を促す私だが、なんだかなあ。この言葉「実は学生からの受け売り(苦笑)で何かあるたび思い出しては反省する。また、周りをきちんと見ると気づく。本学の学生や先生方は心のゆとりと時間の使い方が絶妙だ。見習わねば。 入試広報課 大橋 慶子

毎年好評の文化会写真部卒業展が3月14~18日の5日間、開かれます。いろいろの作品がずらり。ぜひご来場ください。



時間: 14日17時10分~21時、18日10時~16時まで 会場: 千葉市文化センター5階 市民サロン(JR千葉駅東口から徒歩10分、千葉都市モノレール 葭川公園駅から徒歩10分) (写真部ホームページ: http://citsec.blog41.fc2.com 参照)